

# 研究結果報告書

## 日本の障害者福祉制度にみる中国の障害者福祉政策に関する研究

所属：呼和浩特民族学院教育系  
役職：講師  
氏名：明珠(他1名)

本研究は、現在中国の社会福祉分野の一角となる障害者福祉政策に焦点を当て、その現状、政策状況に触れ、そこに抱えている実践的及び制度的な課題に注目して、それを体制化されている日本の諸政策及び諸制度との比較研究を行うものである。具体的な成果としては以下のようなことが判明した。

日本の障害者福祉政策が、いまだに進展過程である中国の実践的な取り組みに指針になる意義を持つと考えることができる。具体的には、実践レベルにおける日本の関係者訪問、実態調査及び施設視察等からみれば、日本の福祉関連事業は政策段階においてサービスの充実を心がけ、些細なところまで利用者のために考えられていることが明らかになった。この面においては、中国の方が遅れていて、日本から学ぶべきことが分かる。一つの事例としては日本の地方政府機関において、障害者福祉関連の公刊物で『障害者福祉の手引き』を作成して、利用者側に便益を図っているに対して、中国の地方役所は、このようなものを発行されていない状況が調査によって明らかになった。

従って、中国では障害者福祉諸政策実態の不透明化により、利用者側が当然に得るべき支援を逃しているケースが多くみられる。また、学問研究レベルにおいて、中国には日本の障害者福祉施策の実態状況、及びその実施についての諸取り組みを全面的に紹介された著物が殆どみられないのが実態である。この点から、中国では理論段階から離脱していない研究状況にあり、実践段階まで進展するには長い時期の模索を行わざるをえないのが現実であることが判明した。今後、中国にて障害者福祉関連事業に関する日本の実践的な政策手法を総合的に議論することで、その結果として中国に注目されつつである公的サービスの充実に貢献できると思われる。

また、中国では障害をもつ人の数は膨大でもあるにもかかわらず、今までずっと社会に見捨てられ、彼らに対しての弱者認識があまりにも強い。このような障害者に対する社会的認知を改変するために、政治主導で彼らに与えるべき権利の保障を保護して、その生活、尊厳、発達に有意な政策を展開していくことは重要であり、諸関連政策の改善方法に関して国際視野から論議することが必要となっていることから、本研究結果が、その一助になることを期待している。

## 研究成果の公表について

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

1. 「日本の障害者サービスシステムからの啓示」（中国語）明珠・白梅紅、  
『障害者研究』（原稿作成中）
2. 「日本からみる内蒙古自治区の障害者政策」（モンゴル語）明珠・白梅紅、  
『呼和浩特民族学院学报（蒙古学研究）』（2016年第二期掲載予定）

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）